

「第八回四季の五箇山フォトコンテスト」

講評

最優秀賞

継承していく、農耕をあつかう子供たちの表情がとても明るく捉えられていて、爽やかである。そして、この継承している様子がなんと云っても明るく伝えられている状況が良い。後ろには見守る多くの人々の姿そして集落を入れることで、写真全体を明るくしています。周りの風土も良く捉えられている良い作品です。

竹内敏信賞

明るく農村の未来を語っている写真である。この歴史ある集落が、今を生きる若者たちに託したいという思いがあり、それに応えるかといわんばかりの笑顔。そして、この若者達一人一人の未来の姿が浮かんでくる写真。こういう写真が未来を明るくするのだ。

五箇山観光協会会長賞

春の喜び「春の宴」というのう相応しく、満開の桜の姿が照明を浴びてまさに、旭光を浴びた瞬間の様に捉えている。この瞬間を捉えることができるのは一年でこの瞬間しかない。それは、満開で美しい桜の姿をしているのが一日しかないからだ。作者はとても考えて捉えたのでしょう。見事な作品です。

南砺市観光連盟会長賞

この丸太を笛の音色にのって進み、目的地向かう姿は歴史ある行事の様子を見事に捉えています。丸太に上に乗って、威勢良く指揮をする人の心意気が伝わってくる。雪の降る中、進め一進め一とこの丸太を運び、目的はなんだろうか？が少し問われる。しかし、写真としてとても見事な写真です。

優秀賞（大橋さん）

和紙の元となるようその在るべき姿を表していて面白い作品である。そういう写真はあまり見たことが無い。とても新しく感じることできた作品である。

優秀賞（高木さん）

まず、惜しいのはプリントの調子である。タイトルである「男前」が弱く見えてしまいます。もしできるのなら、空、そして左右の人物の調子を落とし、「男前」を強調出来ればとても良い作品になります。写真として素晴らしいだけに惜しい作品だ。

優秀賞（野村さん）

構図、雪の雰囲気はとても見事であるが、小さく写っている人物が少し物足りない。人物に物語が一つあるともっと上位にいける作品だ。

優秀賞（大西さん）

大胆な構図で面白いが、空を入れすぎてしまった為に花の力が弱くなってしまっていることがとても惜しい。どんどん大胆な写真に挑戦して欲しい。

優秀賞（木下さん）

とても、良い作品です。歴史ある集落に海外からの観光客。表情も良いし、なかなか物語のある作品である。

総評

今年の四季の五箇山フォトコンテストは、なんといってもレベルが高かった。大胆な構図のものや新しい作品など多数あるまった。とても嬉しいことだ。

私も何度も行ったことのある五箇山だが、皆様の作品を見て素晴らしい風土をもった場所だと実感することができた。そして、このコンテストを毎年行い、五箇山をどんどん盛り上げていく。それが、一番の目的ではないだろうか。

また、来年のコンテストに向けて頑張ってもらいたい。